

ミニギャラリー

今月の題字



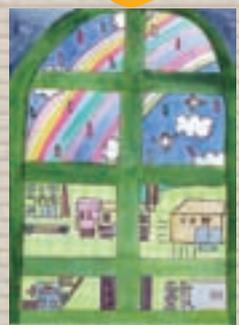
熊野第三小学校6年生
齊藤 愛佳さん

町の人口と世帯数

平成19年11月30日
(前年同月比較)

人口	: 25,821人	(- 66)
男	: 12,549人	(- 30)
女	: 13,272人	(- 36)
世帯数	: 10,232世帯	(+ 93)

熊野第三小学校 6年 合野 希



【評】「夢いっぱい
の街」という題で想像画
を描きました。自分の
理想とする街並みを細
かいところまで丁寧に
仕上げました。

熊野第三小学校 6年 前森 杏奈



【評】バランスに気を
付けながら、一画一画
丁寧に書きました。打
ち込み、止め、払いに
も気を配って仕上げる
ことができました。

熊野の自然 (220)

ウラジロ

(ウラジロ科)



お正月の注連飾りや重ね餅などに欠かせないウラジロです。葉の裏が目立って白いので「裏白」の名が付いています。裏に白い星状毛が密生しているためですが、やがて落ちてしまい古い葉では白くありません。葉が枝垂れるので、古くからシダと言えば普通ウラジロを指し、熊野町でも「シダ」と呼んでいました。常緑で高さ50〜200cmの大型で多年生のシダです。シダは種ではなく胞子で繁殖します。福島県、新潟県以南の暖地に分布。山のやや乾いた所に生え、根茎が長く地中をはって広がり大き

な群落になります。長く硬い葉柄は茶褐色で艶がありません。編んで盆や籠など細工物に用いました。ところ、なぜウラジロがお正月の飾りに使われるのでしょうか。幾つかの説があるようです。葉柄の先に翼のように2枚の葉を広げています。その分岐点に芽があり、翌年の初夏ここから柄を伸ばし、また2枚の葉を広げます。このように代を重ねて伸びるので、代々子孫が続くことを願って飾るとい説。「諸葉」(モロコギ)と呼ぶ地方があります。2枚の葉を同じ向きに広げている形を夫婦和合に見立てたという説。江戸時代にホナガの名があり、長い稲穂に見立て稲のシンボルとして飾ったという説などがあります。

【写真・文】
緑花文化士 富沢由美子

広報「くまの」・熊野町ホームページ
広告掲載募集！！

あなたのお店の広告を広報「くまの」・熊野町ホームページへ。
来年度(4月号)の広告の募集を開始します。
お早めにお申し込みください。
来年度も申込み割引があります。(申込回数の条件有り)
詳しくは、総務課情報推進グループ TEL820-5601



熊野町ホームページには毎月30,000件を越えるアクセスがあります。ホームページに広告を載せてみませんか？

←熊野町ホームページ



「広報くまの」は再生紙に「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。